

【榎本館長からのメッセージ】

6月に入り、関東地方では『節水』がつぶやかれています。まとまった雨は少ないですね。皆様もこの夏は節水にご協力願います。
7月に入ると皆様お待ちかねの夏休み！（学生中心ですが…）夏休みといえば海だ！山だ！プールだ♪宿題だ…そう、宿題です！
ということで、この際宿題も遊びも両方を解決できる夢の島へ来てみてはいかがでしょうか？毎年恒例の夜間開館！昨年好評でした「夢熱落語会」や、恒例の「月見草プレゼント」。ほかにも家族で楽しめるワークショップなどをご用意。夏限定の企画イベントは、学生以外でももちろん楽しめます。昼と夜でがらりと雰囲気の変わる夢の島です。ぜひご家族でのお越しをお待ちしております。
～～お見舞い～～

現在九州や四国では大雨による水害、土砂被害の様子が報じられています。
被災されている方々にはこの場を借りて、心からお見舞い申し上げます。

館長



▲ ブルキナファソ展

季節イベントの紹介（イベント・展示担当：関）

夢の島アフリカンフェスタ「ブルキナファソ展」を情報ギャラリー、イベントホールにて7/18 まで開催しています。西アフリカの未知の国、ブルキナファソ。「西アフリカの日本人」とも言われる、勤勉で穏やかな人達の文化や習慣を学んでみませんか？

ブルキナファソ大使館にご協力いただき、パネル解説とともに、ブルキナファソにある熱帯植物展示、民芸品やファッションもご紹介しています。フォトスポットでは衣装をまとい撮影することもできます。また売店にて関連商品の販売もしておりますのでご利用ください。

●「ブルキナファソ展関連ワークショップ」●

「ライオンアレンジを作ろう」(7/10)、「ファッションワークショップ！」(7/18)

【イベントのご案内】

「夜間開館 2016」(7/16、23、29、30)、「今を生きる古代魚類と熱帯の不思議な生きものたち展」(7/20～8/28)、「夢熱落語会」(7/30)、「エレクトーンライブ」(7/30)、「熱帯スコール体験」(7/16～8/28 の土日祝)、「ウィークエンドコンサート」(7/2、16)、など ※詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館までお問い合わせください。

館内で見られる植物の紹介（植物館植栽担当：横平）

マンゴーの歴史はかなり古く、主な原産地であるインドでは、4000 年以上も前から栽培されていると言われています。そのため仏教とのつながりも深く、釈迦が寄進されたマンゴー林の下で弟子とともに布教活動を行ったことから、仏教徒にとって聖なる木とみなされているそうです。

高さが 10～30 メートルにもなる常緑高木です。花は黄色または薄紅色で小さく、数百から 2000 個くらいが集まり、枝先にピラミッド型の花序を作ります。雄花と両性花に分けられ、実になるのはそのうち受粉できた両性花だけです。両性花は花序の 1～30 パーセントくらいしかなく、そのため花序一つにつき、1～3 個くらいしか実が出来ません。

品種は 500 種以上あると言われています。日本で最も一般的に栽培されているのは、「アーウィン」という品種で、熟すと鮮やかな紅色になります。熟すと赤くなるものを総称して、「アップルマンゴー」と言います。その他に果皮が黄色になる品種もあり、種類により異なります。果肉の色はだいたい黄色で、中の種子は大きく、扁平な形をしています。

またウルシ科なので、未熟な果実を触るとかぶれたりすることもあり、注意が必要です。



▲マンゴー・実と花
(ウルシ科)

花のアップ ▶



今月の花と実



▲ サガリバナ



▲ 赤バナナ

♪ この時期の人気者 ♪

夜間開館の人気者「サガリバナ」は、別名「沢藤(さわふじ)」。夜咲きですが、花期には午前の早い時間まで、花の終わりをみるることができます。茎についているか、落ちて池に浮いているか、下草の上に着地しているか(写真参照)。状態はその日のお楽しみです。

バナナも元気に結実中。
ブロンズ色の赤バナナは、美術品のような美しさです。

【サガリバナ】団体不可
コーヒーマスター
一杯無料
7/1～7/31